

自然学習講座

テーマ：水元の災害の歴史について知ろう！

日時：令和6年11月30日(土)
13時から15時まで(雨天決行)

講師：橋本 直子 氏 (専修大学兼任講師)

参加費：無料 定員：30人(15歳以上)

受付開始：令和6年10月22日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年11月4日(月)までWeb・電話で受付。(※抽選制)



講座の様子

水書をテーマに、水元小合溜の成り立ちや災害の歴史など、地域のルーツを紹介いたします。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。

イベント・ガイドウォーク

水元公園ふれあいフェスティバル 11月3日(日)
10時~15時

生きもの展示やどんぐりコマ作り体験、自然物を使った様々なゲームを用意しています。会場は水元公園はなしよう公園。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 10月20日

(通算第211号)



水元小合溜の生きもの:201

スズメ

スズメ目スズメ科

全長 約14.5cm

時期 一年中

ほっぺたの
黒い模様が特徴



人と共に暮らしてきた鳥

スズメは里地・里山の鳥として、昔から人の文化と深く関わりながら暮らしてきた鳥です。草で虫や植物の種を食べ、時にはイネの害鳥として疎まれますが、実はイネにつく害虫を食べている益鳥でもあり、人の生活や文化を陰ながら支えてきた鳥です。

冬には毛が広がり、ふっくらとした見た目になります。

実は、どんどん数を減らしている鳥

スズメは人家の隙間などで主に繁殖していましたが、木造建築が少なくなり繁殖場所が減少したことや、草地や水田の減少に伴う食糧の減少で、大きく数を減らしています。最新の調査で、その減少率は一年間に3.6%と、絶滅危惧種相当であるという結果が出ています。水元公園でも、多く見つかる鳥ではありません。



▲いつも群れを作り生活しています。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



10/14 キビタキ(♀) 春と秋に、渡りの途中で水元公園で見られる。ほ場のエゴノキの周りを飛びまわっていた。



10/14 オナガ 十数羽の群れでよく見られる。オニバス池付近で実っていたカキノキの実をついばんでいた。



10/14 ショロウグモ 秋にかけて成熟し、産卵してその生涯を終える。水元公園のいたる所で大きな網を張っていた。



10/14 ケチヂミササ 種子の表面には粘性があり、毛や衣服にくっつくことで種子散布する「ひっつき虫」の一つ。



10/14 ヒナタイノコツチ 種子の毛がクリップのように毛や衣服に引っ掛かってくっつく「ひっつき虫」の一つ。



10/14 アリグモの一種 アリに擬態するクモの仲間。前脚をアリの触角のように小刻みに動かし、動きまで擬態する。



10/14 マテバシイ 水元公園では広い範囲で見られるドングリの一種。コナラやくヌギと比べて、とても硬い。



10/14 クロマダラソテツシジミ ソテツが食樹のシジミチョウの一種。新芽に産卵し、今時期は卵や幼虫も見られる。



10/14 オオカマキリ 秋には大きな成虫が見られる。空腹だったのか、指を近づけたら前脚で掴まれ、食いつかれた。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

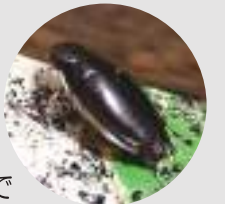
専門員コラム 「消えた水生生物・ミズスマシ」のお話

水元公園は多くの水生生物の暮らす自然の宝庫です。しかし過去、水質汚濁により多くの生物が姿を消しており、いまだ戻ってこない生きものも多くいます。ミズスマシはその一つです。

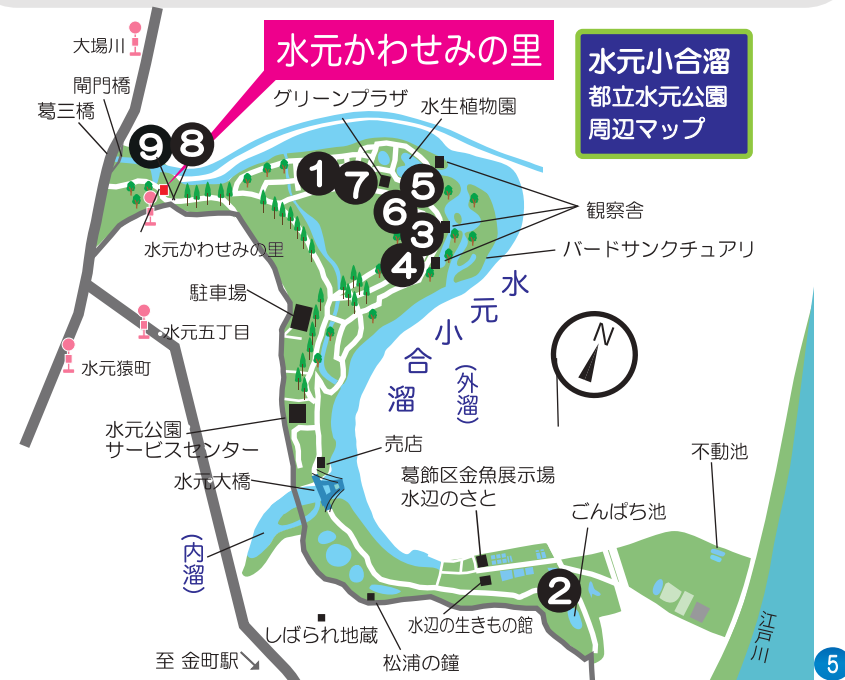
ミズスマシは、水面をすべるように移動する、かつては水辺で当たり前に見られる生きものでした。水元公園で記録がある生物をまとめた「水元昆虫類・クモ類目録」にもミズスマシとオオミズスマシの二種が記載されています。しかし、今は2種とも東京都RDBで絶滅危惧IA類に選定されており絶滅寸前の状況です。ミズスマシはどうしてこんなに少なくなってしまったのでしょうか。

その理由はおそらく、水辺へ流入した生活排水や農薬に含まれる、界面活性剤だと言われています。界面活性剤により水の表面張力が失われると、ミズスマシは泳ぐことができなくなり水没してしまうようです。

一度失われた生きものは、環境が戻ってもすぐには戻ってきません。もしも絶滅してしまえば、二度と戻ってくることはありません。今ある自然を大切にしながら、より良い環境を作ることで、過去存在した水辺を少しでも取り戻せるよう、皆で努力していけたらと思います。(野間)



▲オオミズスマシ



ボランティア活動報告

第10回かわせみフェスティバルを開催しました！

9月29日に水元かわせみの里全体を舞台に、第10回かわせみフェスティバルを開催しました。キッズボランティアやボランティアの他、葛飾地域で活躍する団体や、環境に関わる様々な団体をお呼びしました。イベントには、合計1182人の方にご来場いただき、大盛況でした！



キッズボランティアによる、水元公園の生きものの紹介を行いました。



クラフトコーナーは今年も大人気で、たくさんの方が楽しめました。



出店の他、様々なイベントも実施しました。ハーブの匂い袋作りは大盛況でした。



ゲストとして、さかな芸人ハットリさんにもサプライズステージを披露頂きました！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 10月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

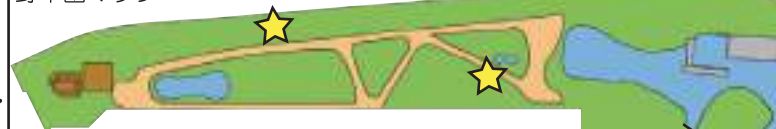
10月の見頃

カネタタキ

その名の通り鐘を叩くようなチッチッチという高く綺麗な鳴き声を響かせている代表的な秋の鳴く虫です。体長は10mm程度ととても小さな虫で、野草園では林の中や枝葉の陰で見つけることができます。他の鳴く虫に比べて翅が短いことも特徴で、高い音が出せる理由とされています。



野草園マップ



見られるポイントはココ！